

スピードスケート・全日本学生選手権

小川が男子総合優勝



▶ 実力を発揮した小川(川口ひろし氏提供)



スピードスケートの全日本学生選手権(12月12、13日、群馬県総合スポーツセンター)で、小川翔也(文1・池田高)が男子総合競技部門で優勝を果たした。
総合競技部門は5000メートル、1500メートル、5000メートル、1万メートルの4距離の合計タイムを競う。小川はジュニアワイルドカップ(1月11、12日、北海道苫小牧市)にも日本代表として出場。この大会には、土屋長輔(経営1・福徳高)、池田崇将(経営1・白樺学園高)、金濱竜聖(商1・光星学院高)も日本代表に選ばれており、専大から4人が出場した。(鷲尾凌平・経営1)

全日本学生チャンピオンズスキー大会(12月20、23日、北海道音威子府村)で、栗山大貴(経営2・白馬高)がノルディック種目の男子スプリント1.2キロとクラシカル10キロの2種目で優勝を成し遂げた。
栗山は「スプリント対策に、瞬発力をつける練習を積んできた。シーズン初めは体が動かないことが多いので、レース前(鷹野未佳・経営1)

栗山が2種目でV

スプリント1.2キロとクラシカル10キロ

スキー・全日本学生チャンピオン大会

1月2、3の両日、大手町から芦ノ湖までの217.9キロを10人が襷をつなぐ、東京箱根間往復大学駅伝競走が行われた。ハイペースなレース展開の中、専大は11時間28分39秒の総合21位で完走。次回大会のシード権を獲得することはできなかった。
【往路】戸塚中継所では繰り上げスタートの危機をわずか7秒差で回避するなど、執念で襷をつないだものの、その後もペースを上げることができず、5時間47分57秒の21位で終えた。
【復路】戸塚中継所と同じく7秒差で繰り上げスタートを回避したが、続く鶴見中継所では最終走者へと襷をリレーできず、繰り上げスタートとなってしまう。しかし、唯一の「箱根」経験者・上野大空(文4・新栄高)が意地の走りを見せ、10区では堂々の区間6位に。上野の活躍もあり5時間40分42秒で復路17位となった。
伊藤国光監督は「今回は4年次生がよく頑張ってくれた。特に復路の健闘は来年につながる。沿道ののぼりや声援が本当(安江祐輔・経営2)

箱根駅伝 総合21位に終わる

1月2、3の両日、大手町から芦ノ湖までの217.9キロを10人が襷をつなぐ、東京箱根間往復大学駅伝競走が行われた。ハイペースなレース展開の中、専大は11時間28分39秒の総合21位で完走。次回大会のシード権を獲得することはできなかった。



▲ 区間6位と快走した上野(撮影・鯉澤)

馬術・全日本学生女子選手権 的場が準優勝

12月14、15の両日、全日本学生馬術女子選手権がJRA馬事公苑で行われ、的場唯(経営4・聖隷クリストファー高)が昨年の3位から順位を上げ、準優勝に輝いた。
今大会は他校の馬に乗り、1、2回戦は馬場馬術の得点、準決勝以降は障害飛越を加えた2種目の総合得点を競う。的場は1、2回戦を順調に通過。準決勝も落ち着いた演技を披露し、決着した。4年間はこの馬に騎乗したので乗りやすかった。自分の得意なことを精いっぱいやることのできた。4年間はあつという間だったが、最後にベストゲームができて本当によかった。この経験を将来に生かしたい」と笑顔で語った。(齊藤麻利奈・経営1)写真も)



▶ 学生最後の大会でベストを尽くした的場

バレーボール・全日本大学選手権 悔しいベスト8
全日本バレーボール大会(12月3、8日、東京都大田区総合体育館ほか)で専大はベスト8となった。
チームを引っ張った長友主将(撮影・森本)



日、東京体育館)は、1回戦で近大に敗れた。長友主将は「優勝できるメンバーはそろっている。自分たちの果たせなかった日本一を目指してほしい」と後輩への期待を熱く語った。
また、次期主将の山本湧(商3・東亜学園高)は「来年からは今までと違って自分がチームを引っ張らないといけない。しっかりと自覚を持ってやりたい」と意気込みを見せた。(金高結・文2)

テニス・全日本学生室内選手権 女子複で金子・入江ペアがベスト8



全日本学生室内テニス選手権が12月5日から8日まで、大阪府吹田市の江坂テニスセンターで行われ、女子ダブルスで金子真理子(文3・秀明八千代高)・入江真子(商2・湘南工科大附高)ペアがベスト8入りした。
1回戦で本年度の全日本学生選手権(インカレ)を制した慶應大の池田・西本ペアと対戦。積月14、15日、亜細亜大テニスコートほか)では女子団体で4位となった。1、2回戦を4-1で勝利したが、準決勝で早大Aに敗れた。続く3位決定戦は、金子・入江ペアを中心に果敢に攻めるも一歩及ばず、敗北した。
次期主将の下川花(商3・富士見丘高)は「負けたくないという気持ちで、粘り強さがまだ足りない」と課題を挙げた。(伊東祐佳・文1)

記録コーナー

◇バスケットボール部
▽全日本総合選手権(1月13日)代々木第一体育館ほか)
【男子】
専大70-97日立サントリー
サッカー部東京
※1回戦敗退
【女子】
専大71-44アカシヤクラブ
関東大学対抗テニス選手権(11月23、30日、12月14、15日、亜細亜大テニスコートほか)では女子団体で4位となった。1、2回戦を4-1で勝利したが、準決勝で早大Aに敗れた。続く3位決定戦は、金子・入江ペアを中心に果敢に攻めるも一歩及ばず、敗北した。次期主将の下川花(商3・富士見丘高)は「負けたくないという気持ちで、粘り強さがまだ足りない」と課題を挙げた。(伊東祐佳・文1)